



江戸六地蔵尊を守る

篠錦之助さん



地蔵尊と篠さん

今年も6月23・24日に真性寺（巣鴨3の21の21）で「江戸六地蔵尊百万遍供養」が行われる。この地蔵尊を守り、供養を行うのは、江戸地蔵尊奉賛会長の篠錦之助さん。篠さんは地元で生まれ育った土地つ子。奉賛会の活動を始めたのは昭和40年ごろからだ。そうである。篠さんは、毎年供養を続けてきたが、「私自身は苦労らしい苦勞はありません。役員の方の気持が一つになるような土台づくりをすることが私の役割です」と語る。

真性寺の地蔵尊は、正徳4年（1714年）に深川に住んでいた地蔵坊正元が、天下安全と往来の人々に広く縁を結ぶことを祈願して、江戸の入口ごとに安置した江戸六地蔵の一つである。昭和45年に



黒柳徹子氏

「非核都市宣言」をしてから、平成2年8月には池袋西口公園内に「和平の像」を建立するとともに各種の平和事業を実施してきました。

10周年を記念し「としま非核記念講演は、多くのテレビ番組に出演し、ユニセフ親善大使としても活躍しているおなじみの黒柳徹子氏を講師に迎え「トトちゃん」とユニセフ」と題

「としま非核平和のつどい」

してお送りします。

映画には手話がつきます。

講演には手話がつきます。

上映します。

講演には手話がつきます。

上映します。

講演には手話がつきます。

上映します。

講演には手話がつきます。

上映します。

講演には手話がつきます。

上映します。

ボランティア活動体験学習

「サマー・アクション'92」

参加者募集

7月～8月

豊島区内在住の18歳以上

状況の発送をもつて発表にかえさ

せていただきます

◇詳細：総務

所、氏名、電話番号を記入し、

6月19日（消印有効）までに「平

平和のつどい」希望と明記、住

み：往復はがきに「としま非核

と題

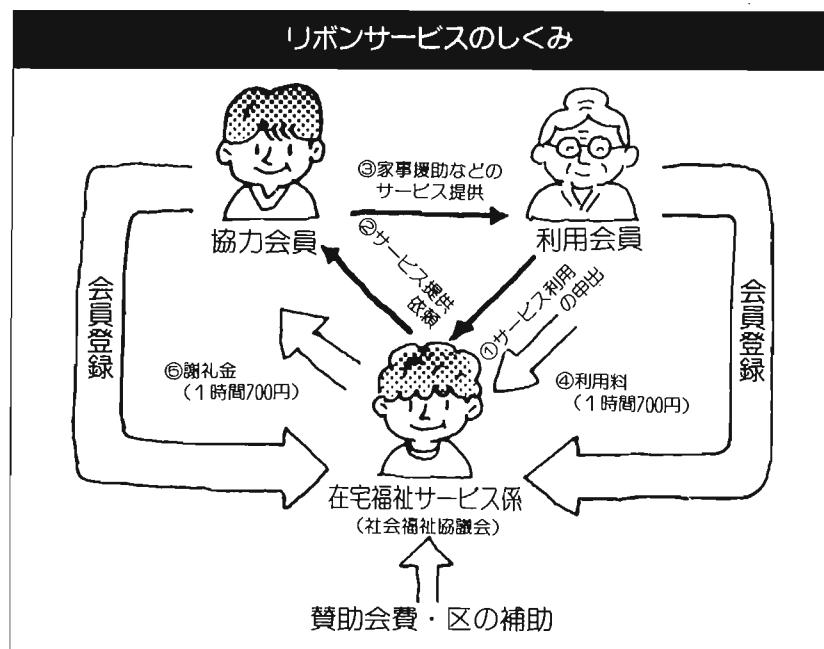
の異柳徹子氏とユニセフと

ツトちゃんとユニセフと

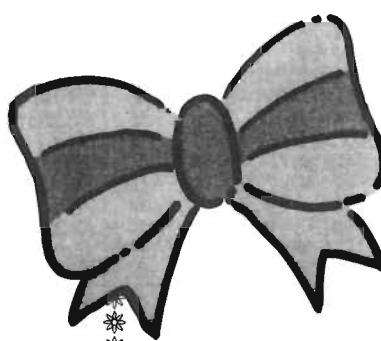
と題



ありがとう、これでトナリ



「協力会員」になりませんか



リボンサービスとは……

豊島区社会福祉協議会において、昨年10月に発足した会員制有料在宅福祉サービスの愛称です。

日常生活のなかで、健康上や身体上の理由により家事を行うことや、買物、通院などが困難な方には「利用会員」として登録していただきます。

また、そのような方々の困難を解決するために、普段のちょっとした時間を使ってサービスの提供を行ってくださる方には「協力会員」として登録していただきます。

「利用会員」のお宅に「協力会員」が訪問し、必要なサービスを有料で提供します。

さらに、この事業に賛同し経済的に援助をお考えの方には、「賛助会員」としての登録をお願いしています。

18歳以上の人たち、ぜひ力を貸してください

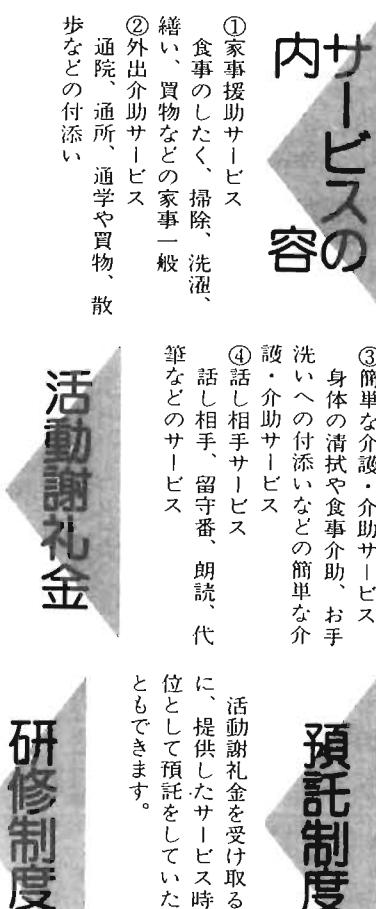
区民の皆さんのご理解とご協力のもと、リボンサービスは多くの皆さんに支えられるとともに、利用者の方々からもたいへん喜ばれています。

「利用したい」「サービスを受けたい」という問い合わせが、多いときには毎日10件以上あります。

リボンサービスの活動はあなたにもできます

リボンサービスの活動は、あなたのご都合のつく範囲で、したいことやできることを、適度にそれぞれの能力に合わせてお願いしています。

リボンサービスの活動は、あなたのご都合のつく範囲で、したいことやできることを、適度にそれぞれの能力に合わせてお願いしています。



活動謝礼金

1時間につき700円。ただし、休日・夜間ににおけるサービスの提供の際には、割増料金となります。

サービスの提供に役立つ知識や介護の技術などを研修していく制度もあります。



△詳細：豊島区社会福祉協議会
在宅福祉サービス係 03-3881-0010

リボンサービスは労働や奉仕ではなく、「ごひろひのふれあい」をモットーとした活動をめざしています

リボンサービスは、常に地域の皆さんの「ごひろひのふれあい」をイメージし、会員さん同士のこころとこころを結ぶリボンの役割をめざしています。

活動に際しては、初めに必ず職員が同行し、利用会員の方と一緒に打合せをして、お互いに内容を確認した上で活動を始めていただきます。

リボンサービスの活動は、あなたのご都合のつく範囲で、したいことやできることを、適度にそれぞれの能力に合わせてお願いしています。

リボンサービスの活動は、あなたのご都合のつく範囲で、したいことやできることを、適度にそれぞれの能力に合わせてお願いしています。

リボンサービスの活動は、あなたのご都合のつく範囲で、したいことやできることを、適度にそれぞれの能力に合わせてお願いしています。

リボンサービスの活動は、あなたのご都合のつく範囲で、したいことやできることを、適度にそれぞれの能力に合わせてお願いしています。

高齢化社会の はみがきの仕方

最近テレビ、雑誌等で「健康」をテーマにしたものを見かけます。数か月前もテレビで「入れ歯」についての番組が放送され、たくさんの方々が認識されました。この事は、これから問題となる高齢化社会を反映したものだと考えられています。

改めて「入れ歯」の難しさが認識されました。この事は、これまで20本残すという考え方から「8020運動」を促進しています。人間の歯が失われる最大の原因是、歯槽膿漏がほぼ50%、むし歯が40%と言っています。私達の寿命が伸びているのに歯の寿命はなかなか伸びません。それは「予防」を行うのが手遅れになつているからだと思いま

す。しかし、最近の歯科事業も何年か前に比べてみると、だいぶ変わってきた。集団衛生教育の体制が「歯科」に対して力を入れ、マスコミの影響で興味を持つ人が増えてきたよう

に歯垢の検査をして見ると、ほとんどの歯が表面的には、きれ

いですが、歯と歯ぐきの境目に歯垢がたくさんついていました。

このように間違ったブラッシングをしている方が多いので正し

いブラッシングの指導を歯科医

院で受けてください。最近のブ

ラッシングには、普通のブラシ

以外にも、電動歯ブラシ、歯間

ブラシ、デンタルフロスなど、

いろいろな小器具が出ています。

ただ注意することもあり振動数、

回転数によつては歯の損傷を生じる危険性があるということです。

このようにたくさんのお防

護器が普及されてますので、そ

の利点、欠点を考え歯科医に直

接使用方法を聞いて正しいブ

ラッシングを心掛けください。

正しいブラッシングが、一生

自分の歯で食事の出来る健康的な老後に繋がります。

